

# 校長室から平成30年12月5日

## いじめ防止「きずな」キャンペーン

### 生徒集会から考える

先月から今月にかけて、いじめ防止「きずな」キャンペーン期間でしたが、皆さん、「いじめ防止」に関して何らかの意識を持って、生活していますか。現在、1、2年生は、担任の先生との2者面談期間ですね。普段なかなか話せない事も、この機会に、さらに担任の先生との信頼関係を深め、「いじめ」に関する事だけでなく、様々な角度からお話や相談をしてみてください。

先日、生徒集会で生徒会事務局が、いじめに関する内容の話や独自で制作したビデオで、意識付けしてくれました。その中で、生徒会長から「いじめは人を傷つける行為であり、それと同時に自分も傷つけてしまう行為。」という話がありました。とても心に響く言葉で、私も考える事が多くありました。

日常の学校での活動、学校行事への取り組み、修学旅行や体験学習のグループ決めや計画づくり、部活動での取り組み等、様々な場面で人間関係に悩み、トラブルが起き、それを解決したり折り合いをつけたりして、成長していきますが、その過程で、人を傷つけたり、逆に傷ついたりという事も起きてしまう場合があります。互いにそれを理解しあい、認め合うには、それ相応の経験と人間としての成長が必要です。そして、自分なりに他者と折り合いをつけたり、自分の中で納得したり、ある時は妥協し、ある時は自分を主張しながら、人との距離感が少しずつ分かってきます。それが十分にできるようになるには、時間がかかりますが、友達との関わりや先生方の指導・支援を受けながら、身に付けてほしいと思います。実は大人になっても人と関わるとい事は喜びでもあり、難しい事でもあります。現代はSNSを使用するのトラブルも深刻であり、さらに複雑化してしまう場合もあります。

そのような事を考えているときに、先日の生徒会長の言葉が深く私の心に響きました。「いじめは人を傷つける行為であり、自分も傷つける行為。」本当にそう思います。まずは、自分の心に問いかけてみるのもいいかもしれません。「なぜ自分は人に悪口を言ってしまうのか。」「どうして自分は人がしないような意地悪をしてしまうのか。」「なぜ、本人がいない時に悪口を言ってしまうのか。」等々。日常の自分から少し距離を置いて、静かに考えてみる事も大切だと思います。

私自身もマイナスな気持ちになる事があります。それはどのような時なのか考えてみると、精神的に疲れていたり、思うようにいかなかったり、人を羨んだり、進もうとするときに大きな壁があったり、そのためにストレスがあったりと、様々思い浮かびます。そのような自分のやるせなさが他者に対する姿勢になっていたとしたら、自分に関わってくれている人を傷つけ、結果的に「自分をも傷つける事」という部分に繋がっているような気がするのです。

いじめは悪い行為だと誰もが知っています。だから人に気付かれぬようにしたり、誰にも見えないように進行したりします。そしてその行為を指摘された時に「悪ふざけでした。自分はいじめのつもりはありませんでした。」と話したりする場面もあります。もっとも本当にいじめるつもりはなく、後から気付くという場面もありますよね。「いじめは悪い行為なのでしてはいけません。」この事は本当に大切だと思います。それと同時に「自分の中で、どのような時にいじめる気持ちが湧き上がってくるのか」を静かに考えてみると、「自分の内面」を知る事ができるかもしれません。自分を知り、そして自分を磨き、成長していくよい機会になると思います。